

せとうち観光推進機構、新たな専務理事 就任

一般社団法人せとうち観光推進機構では、新たに専務理事（一般法人法上の代表理事）として、2019年10月1日付けで金平 京子（かねひら きょうこ）が就任いたしました。あわせて、金平専務理事は、当法人の事業本部長を兼任いたします。

<プロフィール>

金平 京子（かねひら きょうこ）

東京ディズニーリゾート（株式会社オリエンタルランド）マーケティング部を経て、オーストラリア政府観光局 ブランド・デベロップメント・マネージャーに就任。若者からシニア女性までターゲットを拡大し、オーストラリアをリブランディング。また「シドニーオリンピック2000」を経験。



その後 ウォルト・ディズニー・ジャパン株式会社 マーケティング・マネージャーに就任。

2004年、英国政府観光庁 日本・韓国代表に就任。多数の民間企業をパートナーとして、日本人が共感する英国の文化や音楽、ファッションなどのライフスタイル、クリエイティブで洗練された魅力を訴求した3年間に渡る「英国式幸福論。」キャンペーンを手掛けた。

その後オーストラリア ニュー・サウス・ウェールズ州政府観光局、オーストラリア ビクトリア州政府観光局 日本局長を歴任。マラソンブームに着目し、シドニーマラソンを日本市場で初めてプロモーションし、日本からの渡航者を大幅に増やすことに成功。以来日本人にとってシドニーにおける最大のイベントのひとつとなった。

2011年、東京都中央区副参事（観光・文化振興・特命担当）に就任し、10年間の「中央区観光振興ビジョン2012」を策定。その間、インバウンド観光にも関わり、2014年、公益財団法人福岡観光コンベンションビューローの東京支局長に就任。

2017年、ドバイ政府観光・商務局 副代表 就任。

現在、日本政府観光局 アドバイザーとして、「ラグビーワールドカップ2019」、「東京2020オリンピック・パラリンピック」、「国家ブランディング構築」プロジェクトに携わる。

<金平 専務理事より一言>

せとうちDMOの新たなステージに向け、これまでのアウトバウンド、インバウンドの経験を生かし、チーム一丸となってせとうちブランドを国内外に広め、より強いDMOにしていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。

「せとうち」と「九州」の連携により、西日本への誘客を促進！

～超広域ディステーションマーケティングを展開～

9月2日（月）、一般社団法人九州観光推進機構（以下、九州観光推進機構）との間で「インバウンドプロモーション連携に関する趣意書」を締結しました。

現状の訪日外国人旅行者数を見ると、日本全体では増加基調にあるものの大都市圏やゴールデンルートへの集中が顕著であり、地方への拡大が今後の課題となっています。その一方で、日本の各地方が持つ様々な魅力に関心が高まりつつあります。

今回の協定はこのような状況を踏まえ、瀬戸内エリアと九州エリアという自然、歴史文化、アート、食といった他に類を見ない多くの魅力的なコンテンツを有する両地域が手を結び、スケールメリットを活かした効果的なプロモーションを行うことにより、インバウンド誘客を図っていくというものです。瀬戸内と九州が横断的に連携することで、両エリアはもちろんのこと広く西日本エリアでの周遊や滞在の長期化を促進していくことを目的としています。

具体的には、せとうちDMOの有するインバウンドマーケティングの知見、欧米の旅行会社やメディアとのリレーションを活用し、瀬戸内エリアに加え、九州エリアのPRをより効果的にプロモーションしていきます。現在、せとうちDMOが行っている認知拡大や旅行商品の造成に向けターゲットとする独・仏・英・米の4市場において展開している現地エージェンシーの設置、その活用による現地メディアや旅行会社への継続的なPR活動などにより、瀬戸内、九州、広く西日本エリアへの誘客に繋げてまいります。

【連携の内容】

- 1 両機構が決定した対象市場において、海外から瀬戸内地域、九州地域へのインバウンド拡大を目指す活動について連携し、協力していきます。
- 2 両地域の連携によるスケールメリットを活かした効果的なプロモーションについて共同実施します。

瀬戸内Finder 9月人気記事TOP5



地元ライターによる
瀬戸内情報発信中！
<http://setouchifinder.com>

- #1 **特集 周防大島 海だけじゃない！**
山口県
- #2 **絶景すぎる稲荷神社**
山口県
- #3 **山口県の超絶景 マトメ8選！**
山口県
- #4 **栗林公園を早朝に訪れるべき5つの理由**
香川県
- #5 **日本三大秘境！ 徳島県「祖谷」がスゴすぎる！**
徳島県



メディア掲載実績

- 機構 新専務理事就任
- 9月25日 中国新聞
- 庄原古民家関連
- 9月3日 中国新聞
- 9月5日 読売新聞
- 9月11日 山陽新聞
- 9月13日 中国新聞
- 9月19日 広島ホームテレビ
- 9月25日 WINK(備後版)、TJ Hiroshima(10月号)
- 9月28日 RCC中国放送
- 島と暮らす
- 9月5日 神戸の本当
- 9月25日 地域産品ジャーナル(10月号)
- 瀬戸内観光情報
- 9月10日 att japan
- 9月12日 観光経済新聞
- 瀬戸リスト(STU48)
- 9月22日 朝日新聞
- せとうちDMO
- 9月24日 ACT4
- 九州観光推進機構連携
- 9月25日 地域産品ジャーナル(10月号)

海外メディア73媒体で掲載されました！

8月は欧米市場73媒体で、瀬戸内エリアの記事が紹介されました！（内訳は、アメリカ:23、イギリス:16、フランス:17、ドイツ:17）VOGUEをはじめ複数の有力媒体で“Setouchi”をフォーカスした記事として取り上げられ、ディステーションとして瀬戸内の認知度がますます高まっています。

米「VOGUE」

媒体接触者数：
約10億PV/月

VOGUE

<5 Places to Travel This Fall>
今秋に訪れるべきディステーション5選

5 Places to Travel This Fall



掲載スポット
【香川】
直島
【愛媛】
瀬戸内リト
リート青尻

香川県
直島

Every three years, the Setouchi Islands of Japan (aka the “art islands”) hold the Setouchi Art Triennale, a contemporary festival where works by 150 international artists are scattered across 12 different islands in the region. The last of the festival’s three sessions runs from September 28 through October 4, and includes outdoor works propped up in fields, along the coast, and even in abandoned homes. Then there’s the Setouchi Island’s “permanent” collection, which includes earthworks by artists like Yayoi Kusama, James Turrell, Walter de Maria and architect Tadao Ando. Stay at the Setouchi Aonagi, which includes suites designed by the latter.

2019/8/30掲載

<https://www.vogue.com/article/5-places-to-travel-this-fall>

仏「Le Journal des Femmes.fr」

媒体接触者数：
約2,610万PV/月

LE JOURNAL DES FEMMES

<10 good reasons to go to Setouchi in Japan>
日本の瀬戸内に行くべき10の理由

10 bonnes raisons de se rendre à Setouchi au Japon

A une heure de train d’Osaka, Setouchi surprend par la diversité de ses paysages, sa richesse culturelle et gastronomique. De la Triennale d’art contemporain à la visite d’ateliers de potiers à Bizen, 10 idées pour découvrir la région.



掲載スポット
【岡山】
犬島、倉敷、野崎家、
児島ジーンズスト
リート、後楽園
【香川】
栗林公園、
金刀比羅宮、
金丸座、女木島、
本島、直島、豊島
(ほか)

<https://www.journaldesfemmes.fr/loisirs/voyages/2553274-japon-13-incontournables-de-la-region-de-setouchi/>

2019/8/6掲載

英「The Scottish Sun」

発行部数：
約25万部/日



<Setouchi of class - Explore the hidden gems of Setouchi for a more serene insight into Japan>
瀬戸内の品格：秘宝たちを巡る



掲載スポット

【兵庫】神戸牛、樂久登窯、明石海峡大橋
【香川】金刀比羅宮、金丸座、豊島美術館、男木島
【徳島】奥祖谷二重かずら橋、かかしの里、霊山寺

(ほか)

2019/8/10掲載

独「imaginemag.ch」

媒体接触者数：
約17万PV/月

IMAGINE MAGAZIN

<Iwagishima- the island where the lemons bloom>
岩城島 - レモンが咲く島



掲載スポット
【愛媛】
岩城島
(レモン懐石)
(ほか)

Iwagishima – Die Insel, auf der Zitronen blühen

von Urs Huebscher
Iwagishima, die japanische „Insel der grünen Zitronen“ hätte Dichterstürst Goethe bestimmt auch zu einem gefühlvollen Gedicht inspiriert. Das bezaubernde kleine Eiland liegt in der Region Setouchi im Seto-Binnenmeer in der Präfektur Ehime und ist berühmt für seine Zitronenbäume, die überall auf der Insel wachsen. Obwohl die Früchte grün gefärbt werden, sind sie saftig und geschmackvoll und liefern die Grundlage für erfrischende, köstliche Gerichte.

<https://www.imaginemag.ch/iwagishima-die-insel-auf-der-zitronen-bluehen/>

2019/8/29掲載

その他の記事は、サイト「SETOUCHI TRIP」MEDIA & TRAVEL TRADE
「SETOUCHI in the News」をご覧ください。

<http://setouchitrip.com/media>

米国旅行会社 視察ツアー実施

せとうちDMOの重点対象市場の1つである米国からの誘客を促進するため、大手旅行会社のプロダクトマネージャーを招聘し、視察ツアーを実施しました。今回の視察ツアーは、「サステナブルツーリズム」をテーマに瀬戸内エリアにフォーカスした内容で実施しました。2019年8月26日～30日の5日間で尾道、鞆の浦、真鍋島（岡山県笠岡諸島）、本島・粟島（香川県塩飽諸島）、小豆島、祖谷、琴平を視察し、瀬戸内の文化、自然環境を生かした観光に関しての視察ができ、今後の商品造成に期待できる内容となりました。

今後も引き続き米国市場に対して効果的なプロモーション活動を行なってまいります。



尾道：
ARTBASE MOMOSHIMA



鞆の浦：対潮楼



小豆島：ヤマロク醤油



大歩危峡：ひの字渓谷



琴平：施設視察

【視察スポット】

- 8/26 尾道駅：宿泊施設視察（Log、せとうち湊の宿、OnomichiU2）、ARTBASE MOMOSHIMA、鞆の浦：宿泊施設視察（鞆の浦温泉ホテル鷗風亭、潮待ちホテル檜屋）、海ほたる体験（仙酔島）、鞆の浦泊
- 8/27 鞆の浦：対潮楼、常夜燈、保命酒屋鞆酒造(株)、宿泊施設視察（汀邸遠音近音）、真鍋島（漁火：島料理体験）、粟島（海洋記念館、アーティスト・イン・レジデンス事業）、本島（吉田邸、笠島地区）、本島泊
- 8/28 本島（真木(サキ)邸）、小豆島(昼食：FURYU、森國酒造、ヤマロク醤油、碁石山：護摩焚き体験)、宿泊施設視察（島宿真理）、オリーブ牛（焼肉ジャポン）、高松泊
- 8/29 祖谷：歩危マート：抹茶挽き体験、かずら橋、祖谷そば、落合集落、奥祖谷：かかしの里、祖谷泊
- 8/30 祖谷：宿泊施設視察（新祖谷温泉ホテルかずら橋、祖谷の隠れ宿祖谷美人、ホテル祖谷温泉、峡谷の湯宿大歩危峡まんなか）、モノライダー体験、大歩危峡遊覧船体験、琴平：宿泊施設視察（こんぴら温泉琴平花壇）、うどんタクシー体験

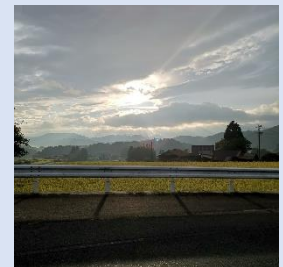
2019年8月26日～30日

せとうち古民家ステイズHiroshima 開業&ファミツアー実施

せとうち古民家ステイズHiroshima『長者屋』及び『不老仙』は、2019年9月1日に一棟貸のパッケージレンタル施設として開業いたしました。庄原市内に多数存在する伝統的な古民家の中でも特に魅力的な建物と景観に優れた立地を持つ2棟の古民家を選び、建物本来の造りを最大限残しながらも現代の宿泊者が快適に過ごすために必要な設備を備えたかたちでよみがえったこの2棟は、国内外の旅行者に新しい旅の仕方を提案する施設となっています。

せとうちDMOではこの施設の魅力を伝えるため、9月11日から13日の3日間でインバウンド旅行者客受入を専門に行う旅行会社向けファミツアーを実施しました。今回の施設開発では地元との協働によるインバウンド旅行者向け体験プログラムもあわせて造成していますが、それらを実際に体験していただいたり魅力的な庄原のスポットをご紹介したりと、旅行会社の方々にその魅力を体感していただく場となりました。

参加した旅行会社からは、刈り入れを待つ輝く田んぼや、人の手が入って初めて美しく保たれている里山など、「まだ見たことのない日本を知りたい、行ってみたい」という希望をもって旅行に来られる旅慣れた外国人旅行者の希望にも沿うことができる場所として「積極的に紹介したい」「西日本周遊のなかのスポットとしての利用を検討したい」などのご意見をいただくことができ、今後のインバウンド誘客に大きな可能性を感じることができる大変有意義なものとなりました。



「長者屋」のある広島県庄原市比和町三河内地区でのサンセットサイクリング。E-bike（電動スポーツ自転車）を使って、棚田のような丘陵地でもすいすいと気持ちよく楽しむことができます。



「国営備北丘陵公園」に作られた里山生活を再現した施設“ひぼの里”にて、当時の建物や生活について学ぶことができます。



夜は、庄原産の旬の恵みを東京や滋賀で修業してきた出張シェフの手でおいしく生まれ変わるのを目の前で見ながら楽しめます。



施設でのリトリートアクティビティなども、旅行に組み込むことが可能です。

せとうちの食材を活用した日仏交流プロジェクトを開催しました

瀬戸内食材の魅力発掘、磨き上げを図ることを目的として、「せとうちの食材を活用した日仏交流プロジェクト」を開催しました。
 (株式会社みなと銀行共催、在日フランス大使館、兵庫県及び徳島県後援、笹川日仏財団助成)

本プロジェクトでは、フランス人トップパティシエで、ルレ・デセール名誉会長でもあるフレデリック・カッセル氏を招聘しました。

10月1日(火)、2日(水)の2日間にかけて行い、1日目は現地視察を行いました。

【現地視察】

徳島県：神山鬼籠野みどり会(すだち農家)、
 服部製糖所(製糖所)

兵庫県：都美人酒造(酒蔵)、仲井農園(淡路島みかん農家)、
 てるてる農園(自然栽培農家)

2日目は1部、2部の2段構成の内容で、第1部においては、神戸国際調理製菓専門学校でカッセル氏によるデモンストレーションと交流会を行いました。

デモンストレーションでは、徳島県のすだちを活用して開発したムースショコラをお披露目しました。

交流会では、広島県産のレモン、徳島県産のゆず、柚香を使用したデザートを提供しました。

第2部においては、カッセル氏による1日目の瀬戸内を訪問しての印象や食材に触れた感想、顔の見えるローカル生産者との付き合い、パティシエとして食材や地域との取組としてのカカオフォレストの活動紹介について講演会を行いました。

兵庫県をはじめとした、瀬戸内域内や大阪府などから、食品、ホテル業界を中心に観光に関連する事業に携わる方にご来場いただき、大変盛況な会となりました。



▲徳島県のすだちを活用して開発した「ムースショコラ」

